

2017 年 7 月 23 日

ディーゼル報道に関する BMW グループの声明

- **BMW グループは断固として非難を否定**
- **BMW 独自の技術は実路走行での排出ガスを確実に低減**

ミュンヘン発：

BMW グループは、現在の報道を見て、最近の主張に関する自らの立場を明確にすることが必要になったと考える。

当社の信条として、BMWグループの車両は不正な処理を施されておらず、個々の法的要件に準拠している。もちろん、これはディーゼル車にも当てはまる。このことは、国内および国際レベルでの関連する公的調査の結果によって確認されている。

BMWグループの販売するEuro 6ディーゼル車はAdBlueタンクが小さすぎるために排出ガス処理が適切に処理されない、という非難に対し、BMWグループは断固として否定する。

BMWグループが用いる技術は、市場の他のシステムとは明らかに異なっている。われわれは、最高の排出ガス処理システムを提供するために競争している。他メーカーとは異なり、BMWグループのディーゼル車は、排出ガスを処理するためにさまざまなコンポーネントを組み合わせている。排出ガス処理のためにAdBlueによる尿素噴射(SCR)を使用する車両は、NOx吸蔵触媒コンバーターも用いている。この技術の組み合わせにより、当グループは排出ガスに関するすべての法的要件を満たすとともに、実路走行での非常に優れた排出ガス性能も達成している。すなわち、BMWグループのEuro 6ディーゼル乗用車のソフトウェアをリコールまたはアップグレードする必要はない。

加えて、これら2つのシステムは、排出ガス再循環装置と相まって、より少ない量のAdBlue噴射しか必要とせず、その結果、他メーカーと比べてAdBlueの消費量は非常に少ない。これにより、タンクサイズの最適化が可能になるとともに、実路走行条件での非常に低い排出ガスレベルも達成している。さらに、BMWグループのディーゼル車は、モデルによってタンク・リッドまたはエンジン・フードから容易にAdBlueを補充することができる。BMWグループの車両を所有するお客様は、AdBlueの充填レベルの低下について繰り返し通知され、これが無視されると、車両はやがて使用できなくなる。

AdBlueタンクに関する他メーカーとの協議の目的は、欧州で必要な貯蔵インフラの設置であったと、当グループは考える。

加えて、BMWグループは、適切なEuro 5ディーゼル乗用車のソフトウェアのアップグレードを自主的に無償で行うことをお客様に約束している。このアップグレードは、過去数年間に現

場で得た知識を取り入れて、排出ガスのさらなる改善を実現するためのものである。私たちは、これが地方自治体と業界を含む包括的な共同対策計画の一環であるとする。その目的は、2017年8月2日に「ディーゼル・サミット」が開催される状況の中、一律に走行を禁止することなく都心部の大気の品質をより改善することである。

この件に関する読者および視聴者からのお問い合わせ先は、
BMW カスタマー・インタラクション・センター:フリーダイヤル 0120-269-437 を
ご掲載ください。

受付時間: 平日 9:00-19:00／土日祝 9:00-18:00
BMW インターネット・ウェブサイト: <http://www.bmw.co.jp>

この件に関する報道関係者のお問い合わせは:
BMW Japan Corp. 広報室:03-6259-8025(企業広報)